

“ほどほど”を“ぼちぼち”やるのがいいんです。



藤田 康祐樹さん・悦子さん

【プロフィール】

＜康祐樹さん＞

広島県因島出身、2016年に移住

＜悦子さん＞

東京出身、2018年2月に移住

【仕事内容】

『OHANA』の経営

ゲストハウス カフェ

フェアトレード商品販売 等

元々、東京でフェアトレードショップ兼オーガニックコミュニティカフェで、“持続可能な暮らしや次世代に繋げるためには何ができるか”ということを考え、発信していました。その学びをさらに深め、実践する場としていいところはないかと移住先を考えていました。世界中を旅して“島で生活したい”という思いが強くなり、自然豊かな瀬戸内の中心大三島への移住を決めました。

大三島の特徴として観光客やサイクリングを楽しむ方が多いため、ゲストハウスがあったら便利だと思い、ゲストハウスをオープンしました。最適な立地の物件に巡り会うことができたため、すぐに購入し、お店をオープンしました。始めは、東京と大三島を往復する二重生活をし、徐々に大三島中心の生活に移行していきました。

お店の名前『OHANA』には、ハワイの言葉で“血縁を超えた家族”という意味があります。大三島は海外からの観光客の方も多いため、名前の由来を伝えると距離がぐっと縮まるのが分かります。

店内では、東京で仕入れたオーガニック農作物を用いた加工品やフェアトレード商品を販売しています。また、海外から輸入したお菓子や小物を販売しながらカフェも経営しています。さらに、大三島の柑橘を使ったジュースや島で採れたオーガニック野菜の軽食や加工品を提供しています。

今後は、島の良さを知ってもらうため、サイクリング・SUP・シーカヤック・農業体験・島内ツアーなど様々なワークショップとも連携予定です。

島の方はとても優しく、一緒に食事をしたり、イベントに参加したりと交流を深めています。休日には大好きな島を綺麗に保つために、ビーチクリーニングをしています。

島でのゆったりとした時間で身を休め、休日はアフリカや南米などで使われている太鼓や笛などを島の人たちと楽しんだり、夫婦で野菜作りや山菜採り、お米を作ったりするなどの島だからこその自給自足の生活を楽しんでいます。

そのため、島外に出ることもほとんどなく、島での暮らしを満喫しています。自然豊かで海や夕日などの都会とは違った空気が流れている大三島は、住んでいるだけで心と体が癒されます。



【移住を考える人へ】

島の暮らしは、時間に縛られずゆったりと過ごしたい方にぴったりです。

自分の夢を形にでき、それを応援してくれる方がいるのは何事にも代え難く、充実した暮らしができます。

